

今年の体育大会は忘れられない思い出になりました。最初の学級タイムの時から、各団で行進の練習をしたり、応援歌を歌ったりと、個性が表れていました。生徒会種目の援軍綱引きでは結果発表の後の喜び方が各団ごとに違って、みんな楽しく真剣に競技に参加していたので、とても嬉しかったです。学年の枠を越えてかかわることのできる団があったからこそ、この体育大会はとてもよい、忘れることのできない思い出になったと思います。来年は応援など、全ての面でさらにパワーアップした体育大会にしてほしいと思います。

生徒会長



私たち1組は、「優勝」という2文字を手に入れるために、夏休みに集まり、放課も相談し、時間をみつけて日々練習しました。みんなが真剣にやってくれるよう、私たちがお手本となり、がんばりました。なかなかうまくまとまらず苦戦もしました。しかし、毎日の練習でみんなの心が一つになり始め、その心を消さず、魂を込めて本番に取り組みました。そしてついに「優勝」という2文字を手に入れることができました。1組の中もよりいっそう深まり、見事、野望を果たすことができました。

1-1



「優勝は1年1組です。」その発表を聞いたとき悔しくてたまりませんでした。それは応援コンクールを通してクラスが一つになってきたと感じていたからです。私たち2組は私を含めて、今まで自己主張ばかりして、協力的ではありませんでした。練習がうまくいかず、不安でいっぱいだった私がみんなの前に立ち続けられのは、私を支えて一緒にやってくれるクラスメイトの存在でした。そしてその輪がだんだん広がり、本番では「優勝できる」と思いました。優勝はできませんでしたが、2組が一つになったと思いました。

1-2



体育大会は、1-3にとってこれからの成長の土台となったと私は思った。優勝はすることは出来ても、一人ひとりが全力を出したか?と聞かれたら、そうではないと思う。全力を出し切れなかったとしたらこれは失敗じゃなくて、学んだことだとポジティブにとらえたい。もうこのメンバーでは体育大会は絶対にできないけど、文化祭・合唱コンクールで再チャレンジして、今度は先輩の力ではなく、自分たちの団結力で全力を出し切って優勝をつかみとる。

1-3



体育大会では、応援と長縄跳びでクラスのまとまりができたと思います。長縄を最初に練習した時、私も跳べてなかったし、連続でできないところもあって1位は無理だなと思いました。でも、少ない練習時間の中でアドバイスをくれる人やまとめる人が出てきて、団結して練習できました。そして、優勝することができて本当に嬉しかったです。また、1位をとれたのは黄団の人が「頑張れ」と応援してくれたお陰だと思いました。

1-4

